

3月定例月議会が開会

3月1日、3月定例月議会が開会されました。初日は市長による市政方針と教育長による教育行政方針、補正予算審査が行われました。議会は8日まで休会し、9日の代表質問や新年度予算審議などが行われ、18日に閉会します。

今週の市議団ニュースでは、日本共産党議員の補正予算質疑の主な内容と、代表質問・一般質問の項目をお知らせします。

橋本竜一議員の質疑

今回の補正予算には、昨年の爆弾低気圧で破損した春国岱原生野鳥公園の木道補修、1千285万円が計上されています。橋本議員は、今回で補修される部分の先、未補修部分の見直しについて質しました。担当課では、耐久性のある「ダイヤモンド工法」の実施と、直線的なコーヌ取りも含めて、4月に調査すると答えました。橋本議員はまた、「道立公園」としての道のかかわり、改修に関わって道の財政支援を求める考え方を質しました。

水産経済部長は、「市もお願いしているが、残念ながら実現していない。今後、も言うべきことは言うが、アプローチを変えて、自然保護だけではなく観光施設としても訴えていきたい」と答えました。約3億2千万円が計上された歯舞中の校舎・屋体耐震改修工事について橋本議員は、国の財政措置（通常3分の1補助が2分の1に）が本年度で終わることを確認し、市内で未実施の小中あわせて4棟の校舎についても、児童生徒の安全を確保する観点から早急に行うよう求めました。

神忠志議員の質疑

ふるさと応援寄付金の活用による「根室市総合体育館建設基金」へ積立する補正について質疑。総合体育館建設の意義を質しま

た。

教育部長は、現在の青少年センターは青少年教育施設として1970年に建設、老朽化も著しく、新たに建設資金としてふるさと応援寄付金から1億円を積んで、実際の建築費に充てるとともに、市民の機運を高めたいと答弁。神議員は、それだけでは不十分であり、まちづくり全体の中でしっかりとしたコンセプトを持って、市長部局と連携を密にしながらい計画することが重要と指摘しました。

今後の3月定例月議会は、9日に代表質問、10日に一般質問が行われます。日本共産党は今回、代表質問に鈴木一彦議員、一般質問に神忠志議員が立ちます。

鈴木一彦議員の代表質問項目

- 「安心して住み続けられるまちづくりのために」
- として、(一) 予算編成、(二) 安定した産業構造の構築、(三) 地域医療と

介護・福祉の充実、(四) 「北方領土」問題、(五) 学校「適正配置」などについて、市長と教育長の見解を求めます。

神忠志議員の一般質問項目

- 一人暮らし高齢者等の生活課題とその支援対策
- についてというテーマで、(一)一人暮らし高齢者世帯数の推移、(二)一人暮らし高齢者等の生活課題、(三)一人暮らし高齢者等への現在の支援策、(四)安心して住み続けられる支援方策とその位置づけについて、市長の見解を求めます。

3月定例月議会はその後、11日に各常任委員会で条例審査、14、17日に予算審査特別委員会、18日に採決等のための本会議が開催されます。

議会は、本会議で行われる代表質問、一般質問はもちろん、各常任委員会や予算審査特別委員会もすべて公開されています。みなさんの傍聴をお待ちしています。

会派視察を行いました



(写真提供・会派「市政クラブ」様)

2月24日、市議会会派「市政クラブ」の皆さんと合同で、「地方独立行政法人北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場」(恵庭市)への視察を実施しました。

昨年10月に根室にいられた場長の永田氏から、大きな河川のない根室半島で取り組む参考として、アラスカで実施している海中飼育放流が紹介されました。また、河川放流では、つくる側ととる側の連携、特にとる側である漁業者が積極的に作り手に関わることの重要性が指摘されました。